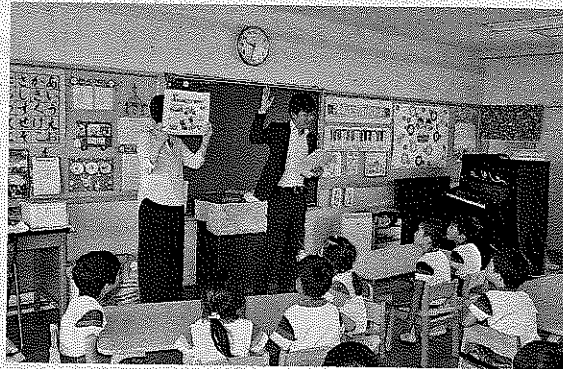


正しい手洗いを学ぼう たかおかこども園で勉強会

中北薬品(本社・愛知県名古屋市中区)は14日、たかおかこども園の年長児64人、年中児59人を対象に、感染予防のため、正しい手洗い勉強会を行った。手洗いの必要性・重要性、手洗いチェッカーを使った実習、正しい手洗いの方法を園児たちに説明し、理解を促した。



手洗いの必要性を説明



手洗いチェッカーで汚れを確認

なるばい菌は、手から口に入ってくることで遊んだ後やトイレに行った後は手を洗うことを説いた。

手洗いは、液体の「手洗いチェッカー」を手にかけてから、特殊なライトを当てると、手に付着している汚れが白く光る部分からどこが汚れているかを確認し、手洗いの後に再び特殊なライトを当て、きれいに洗えたかを検証した。

園児たちは、「親指や指先、手首が汚れていた」と話し、講師の正しい手洗い方法①①手指を流水でぬらす②せつけんを適量、手のひらに取り出す③手のひらを擦り合わせて泡立てる④手の甲を洗う⑤指を組んで両手の指の間をもみ洗う⑥親指をもみ洗う⑦指先をもみ洗う⑧手首も洗う⑨流水でよくすすぐ⑩タオルで水をよく拭き取る。に耳を傾けた。

中北薬品では、地域イベントや小学校などで手洗い勉強会を開催し、風邪やインフルエンザなどの感染症予防のため、手洗いをきちんと行うことの重要性を啓発している。